

みのじ発展会



清 須 市

商店街の概要

みのじ発展会は美濃路街道沿いにある商店街。大名が通る街道があった美濃路地区は、水害を避けるため高地につくられていた。そのため、古い建物や商店が今も数多く残っており、伝統や歴史の感じられるまちとして続いている。

尾張西枇杷島まつり

享和2年(1802年)から始まったとされる歴史ある祭りで、毎年6月の第1土曜・日曜に開催。お祭りの主役でもある5輦の山車が曳きまわされ、多くの見物客で賑わう。数百発の打ち上げ花火があがり、出店が隙間なく250軒も並ぶなど、2日間で約20万の人が訪れる。

《5輦の山車とは》

橋詰町の王義之車(おうぎししゃ)

問屋町の頼朝車(よりともししゃ)

東六軒町の泰亨車(たいこうししゃ)

西六軒町の紅塵車(こうじんししゃ)

杵西町の頼光車(らいこうししゃ)



杵西町の山車（頼光車）



西六軒町の山車（紅塵車）

屋根神様

屋根神様とは、疫病退散・火災除け・病気平癒・商売繁盛などの祈願をした祠を、屋根の上に設置したもの。江戸時代末期から明治初期にかけて名古屋を中心とした尾張地区に広まったとされている。

町内や組、長屋などをひとつの集まりとして、その中の一軒に祀ってある。今では、屋根神様が設置されている家屋の取り壊しや建て直しで、徐々に姿を消しつつある。



屋根神様（一休庵）

組織形態： 任意団体
商店街エリア： 清須市西枇杷島町町屋地区（美濃路地区）
会員数： 17
所在地： 〒452-0054 清須市西枇杷島町南二ツ杵 24-7
代表者名： 林 巖
電話： 052-501-7264
FAX： 052-501-7266